

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

***65 cmクーデ型太陽望遠鏡によるエシエル分光器のスペクトルを収蔵**

日江井栄二郎名誉教授から、東京天文台時代の岡山天体物理観測所 65 cmクーデ型太陽望遠鏡のエシエル分光器で撮影したスペクトルをアーカイブしておいて欲しいと筆者に託された。この 65 cmクーデ型太陽望遠鏡は、三鷹の太陽塔望遠鏡の後継機として 1968 年に完成した望遠鏡だが、この望遠鏡も太陽望遠鏡としての役目はすでに終えている。

託されたスペクトルのフィルム番号は、3701、3702、3704、3705、3706、3708、3709、3710、3711、3712、3713、3714 の 12 枚と番号のない 1 枚である。

また、フィルムを密着プリントしたもの 2 枚を託されている。1 枚には June 6.72 1456 (SN-flare)、2 枚目には June 11.1972 833 (E-limb) と書かれている。

エシエル分光器のスペクトルは幅 23.8 cm の長尺航空フィルにスペクトルの幅 18 cm、長さ 40.5 cm に撮影されていた。この大きさのフィルム、印画はうまく写真に撮ることもコピーをすることもできないので 2 枚に分けて紹介せざるを得ない。写真 1 はフィルム番号 3706 の左側、写真 2 はフィルム番号 3706 の右側で、それぞれオーバーラップしている。

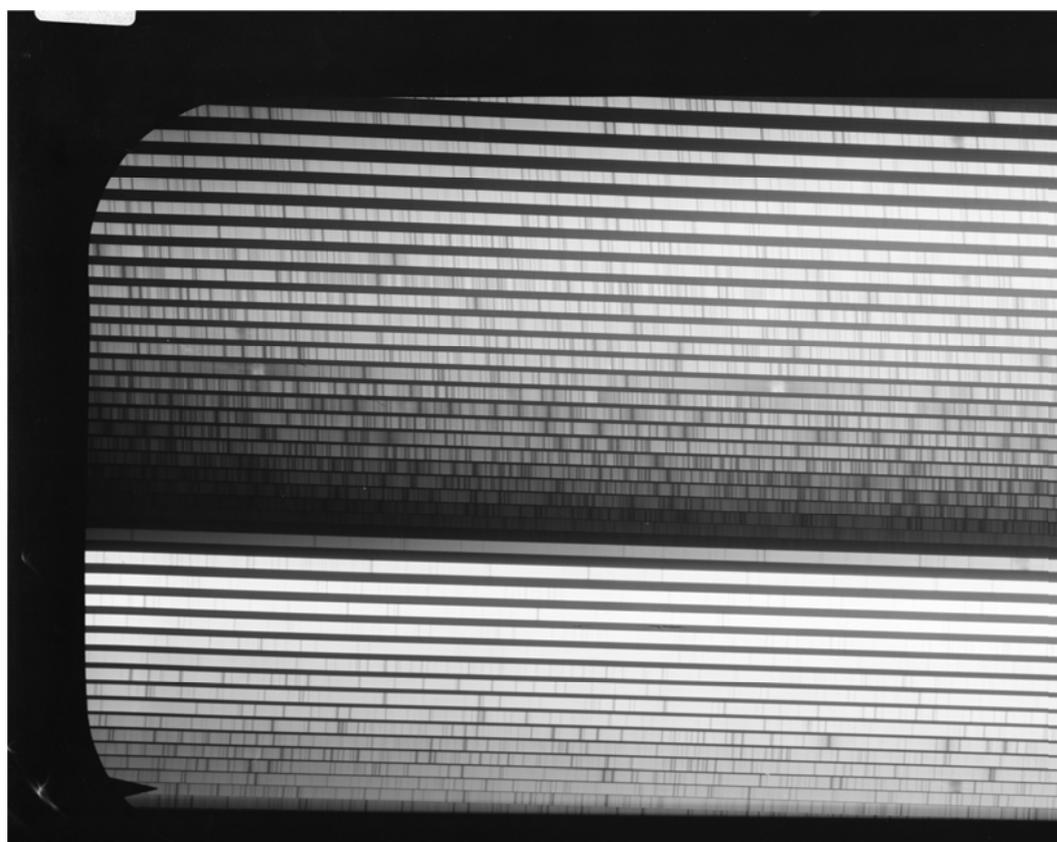


写真 1 フィルム番号 3706 の左側

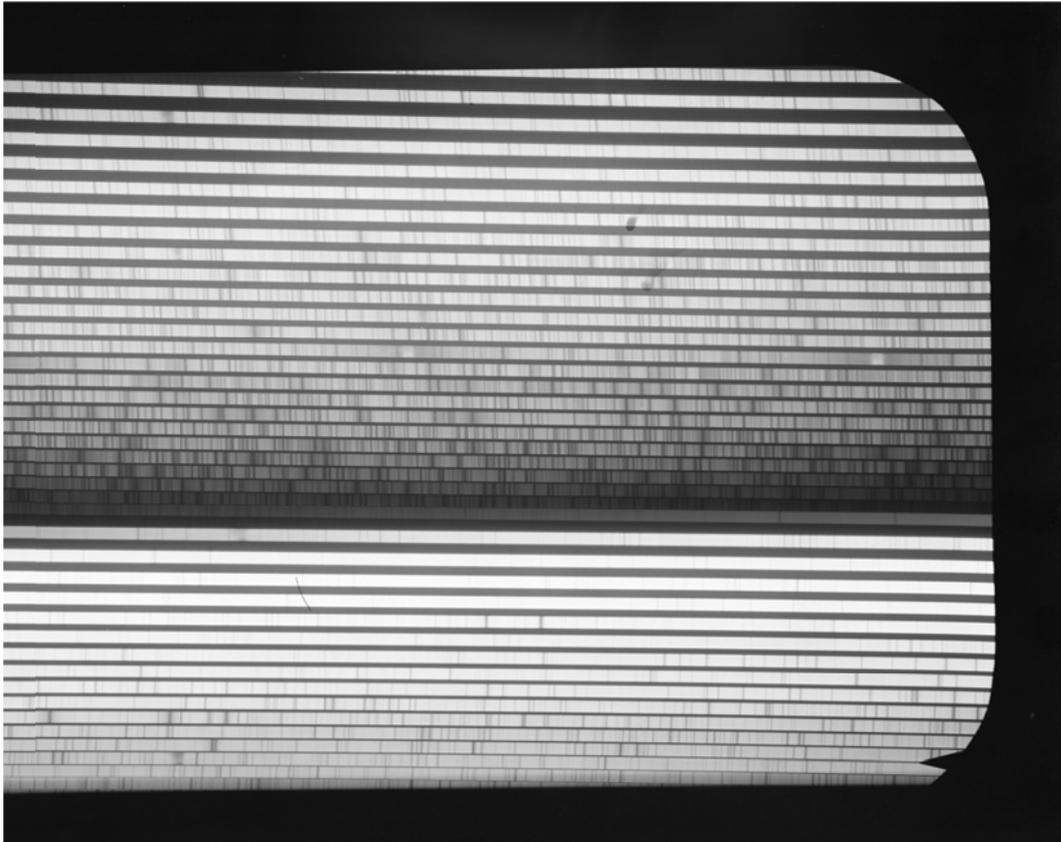


写真2 フィルム番号 3706 の右側

写真3、4は、フィルムを密着焼き付けした印画（June 6 72）です。

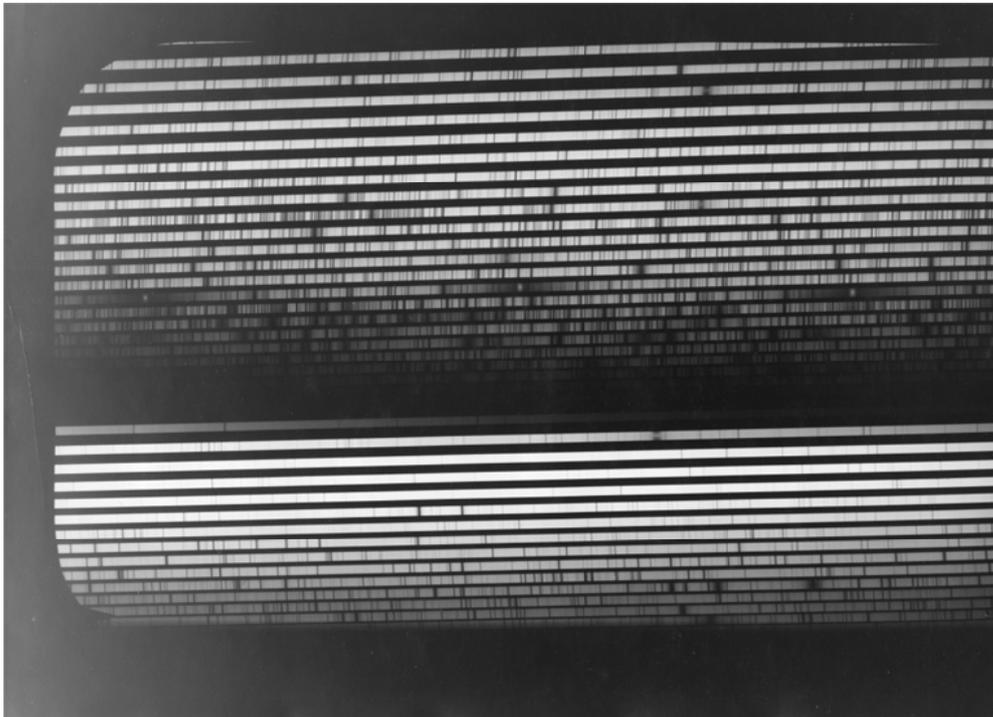


写真3

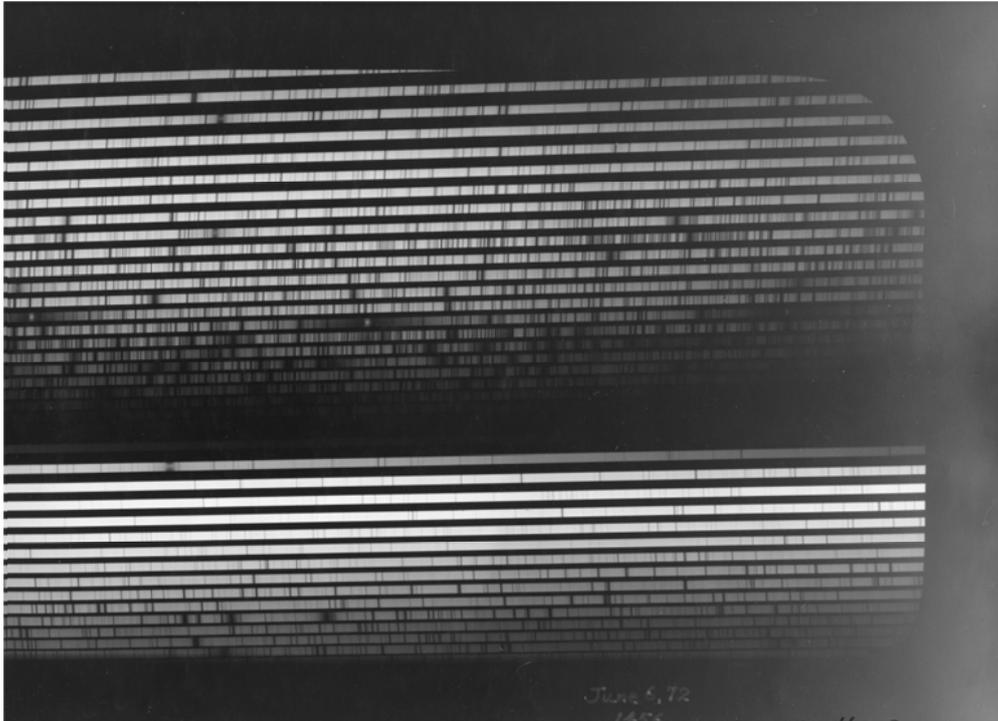


写真 4

エシエル分光器は高分散のスペクトルを得るための分光器で、ハワイに建設された大型光学赤外線望遠鏡「すばる」のナスミス焦点にある高分散分光器もエシエル分光器である。

筆者が岡山天体物理観測所にいた頃、188 cm反射望遠鏡のクーデ焦点にもエシエル分光器が設置された。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcaoj@pub.mtk.nao.ac.jp